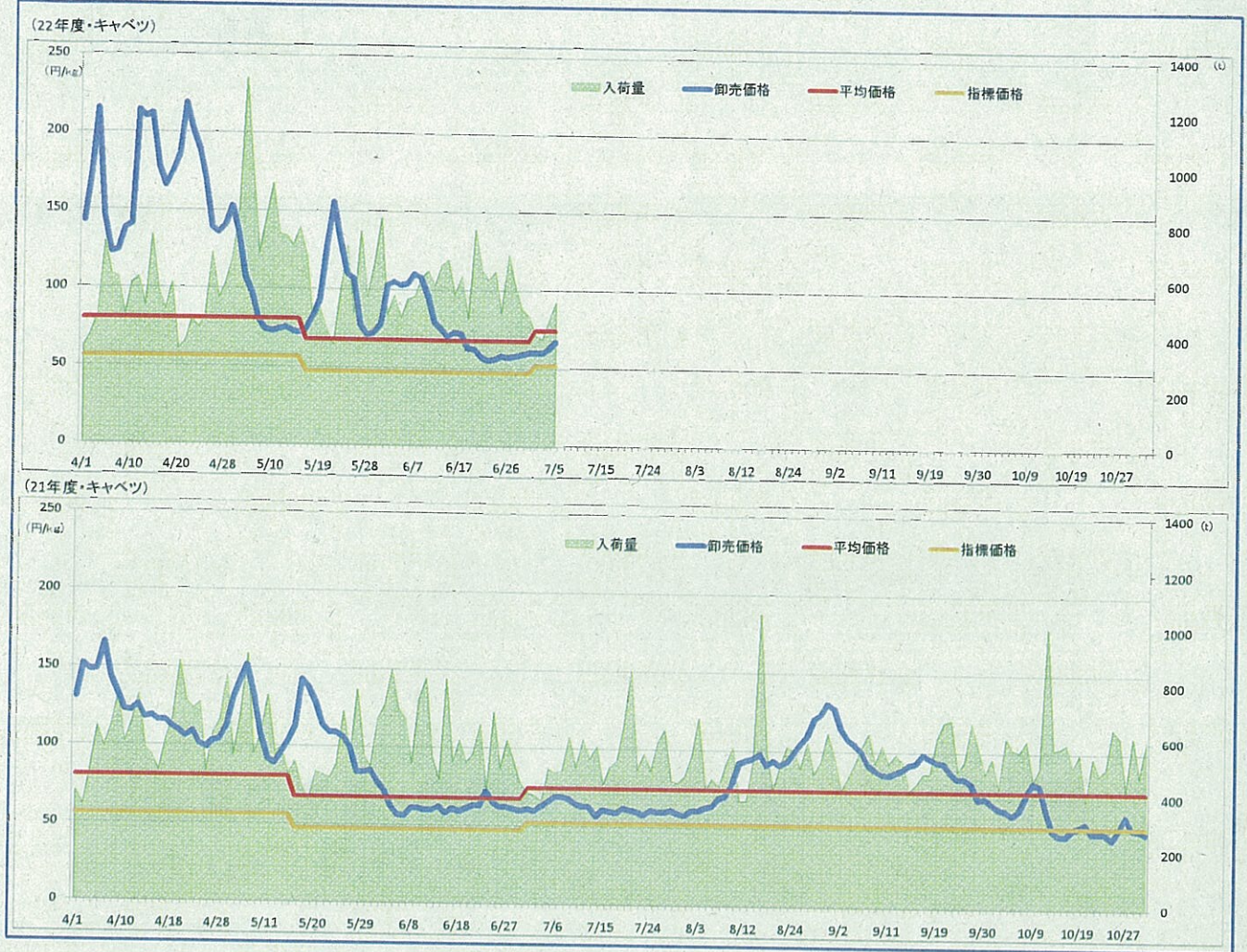


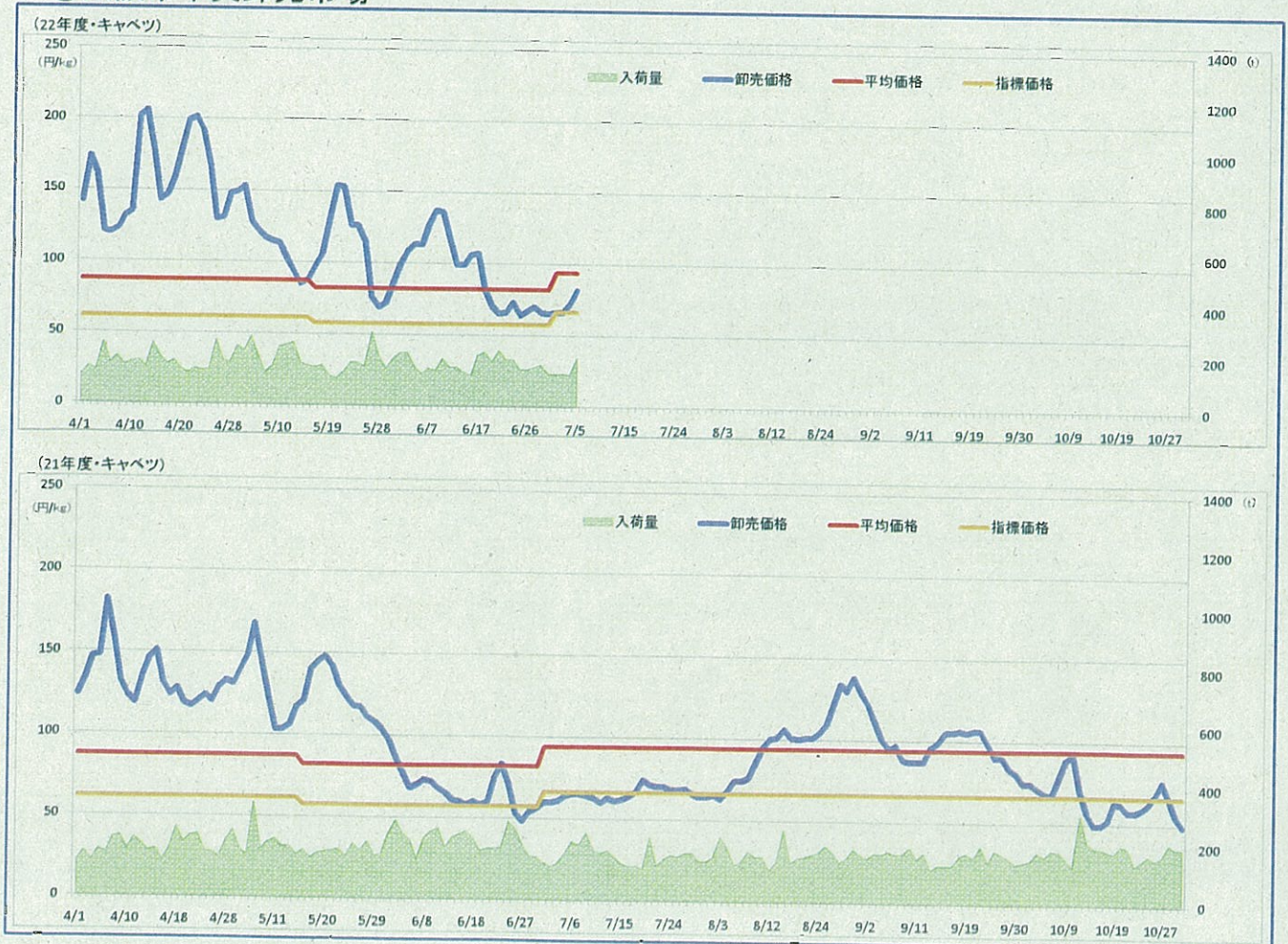
夏秋キャベツ(7~10月)の需給・価格の見通し

1. これまでの入荷量と価格の推移

①東京都中央卸売市場



②大阪市中心卸売市場



2. 生産出荷状況をめぐる状況

(1) 生産（生育）・出荷状況

資料5-7のとおり

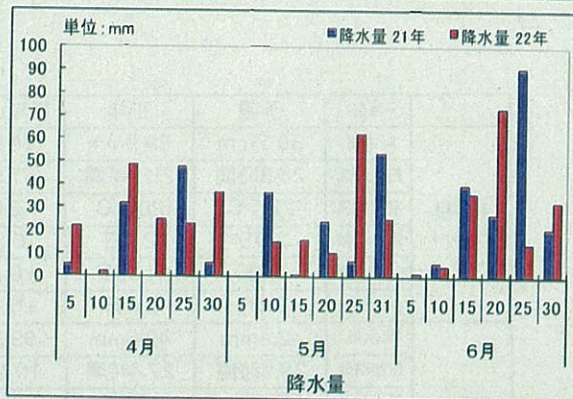
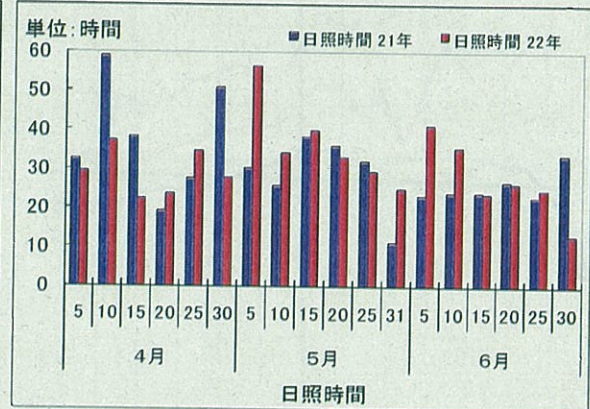
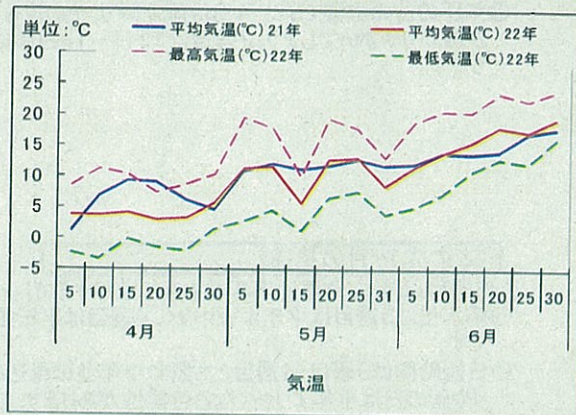
(2) 天候

これまでの気象の推移（群馬県 田代）

気温は、4月は対前年比63%と低かった。5月に関しても気温の変動が激しく対前年比88%であった。

日照時間は、4月は対前年比71%と少なかったが5月には同125%となった。

降水量は、4月が対前年比162%と多かったのに対し、5月はほぼ前年並みであったが、特に下旬に集中した降水量があった。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」

原資料：気象庁「AMeDAS」

②この先の気象状況

- ・盛岡（岩手県）
- ・田代（群馬県）
- ・熊本（熊本県）

【この先1ヶ月の気象状況】

期間: 7月3日(土)~7月30日(金)

地点: 盛岡

作成日: 2010年7月2日

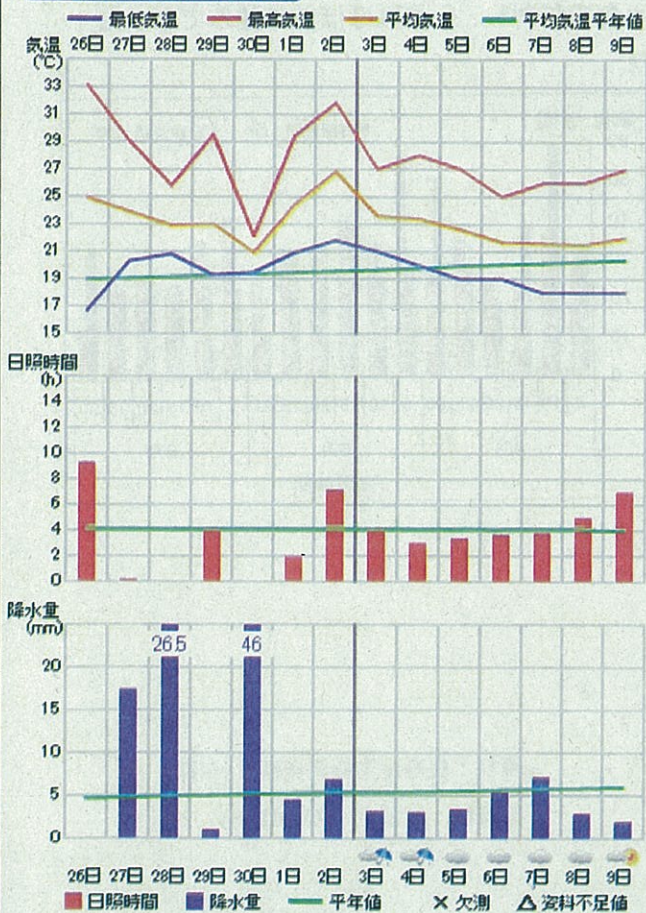
本年(7月~9月)の気象傾向

エルニーニョ現象は終息したと見られ、期間後半にはラニーニャ現象に移行する見込み。このため、日本付近での太平洋高気圧の張り出しは、7月は南西諸島や西日本が中心で、北日本への張り出しは弱い、9月には本州付近への張り出しが強まる見通し。太平洋高気圧の縁を回る湿った空気の影響で、7月は全国的に曇りや雨の日が多くなるでしょう。北日本では7月後半から8月にかけて、寒気の影響を受ける時期がある見込みです。9月は日本付近で太平洋高気圧が強まるため、全国的に残暑が厳しくなる見通しです。

直近1ヶ月の経過

- この一週間は前線や低気圧の影響で、平年の3倍近い雨が降った。特に6月30日には46ミリの大雨となっている。一ヶ月で通してみても平年比166%と顕著に多い。
- 日照時間はほぼ平年並。6月中旬は少ない時期もあったが、上旬を中心に晴天の日が多かった。
- 平均気温はここ一ヶ月で平年差+2.7℃。全般に高温傾向だったが、この一週間は平年差+4.2℃と特に高くなった。6月26日には33.1℃まで気温が上昇。最低気温も20℃前後までしか下がらない日が続いた。

直近1週の詳細予報



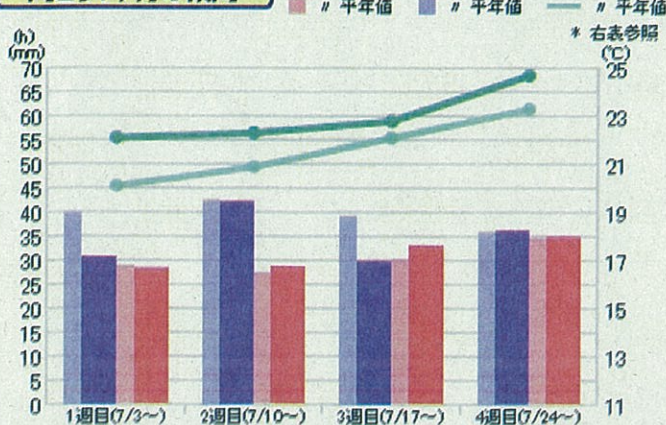
この先2週間の見通し

- 高温傾向は次第に落ち着くでしょう。それでも、1週目・2週目とも、気温は平年並か高い日が多くなりそうです。
- 日照時間は1週目・2週目とも、概ね平年並の見込みです。
- 気圧の谷の影響で3日・4日は雨が降り、その後1週目は雲が広がりがやすいでしょう。2週目は11日~14日頃に雨が降りそうです。

この先1ヶ月の見通し

- 3週目以降も、気温は平年並か高く推移するでしょう。
- 降水量は3週目は平年より少なく、4週目は平年並になりそうです。
- 日照時間は3週目・4週目とも概ね平年並の見込みですが、曇りや雨の日は平年より多くなる可能性があります。

向こう1ヶ月の傾向



	項目	予報	平年	平年比・差
1週目 (7/3~)	降水量	30.7mm	39.9mm	76.9%
	日照時間	28.3時間	28.9時間	97.9%
	平均気温	22.1℃	20.1℃	+2.0℃
	晴れ日数	2.0日	2.3日	-0.3日
	くもり日数	1.9日	1.7日	+0.2日
	雨日数	3.1日	3.0日	+0.1日
2週目 (7/10~)	降水量	42.3mm	42.6mm	99.3%
	日照時間	28.6時間	27.4時間	104.4%
	平均気温	22.3℃	20.9℃	+1.4℃
	晴れ日数	1.6日	2.2日	-0.6日
	くもり日数	2.1日	1.8日	+0.3日
	雨日数	3.3日	3.0日	+0.3日
3週目 (7/17~)	降水量	29.8mm	39.2mm	76.0%
	日照時間	33.0時間	30.3時間	108.9%
	平均気温	22.8℃	22.1℃	+0.7℃
	晴れ日数	1.9日	2.8日	-0.9日
	くもり日数	2.1日	1.8日	+0.3日
	雨日数	3.0日	2.4日	+0.6日
4週目 (7/24~)	降水量	36.2mm	36.1mm	100.3%
	日照時間	34.8時間	34.6時間	100.6%
	平均気温	24.7℃	23.3℃	+1.4℃
	晴れ日数	2.8日	3.3日	-0.5日
	くもり日数	1.5日	1.6日	-0.1日
	雨日数	2.7日	2.1日	+0.6日

【この先1ヶ月の気象状況】

期間: 7月3日(土)~7月30日(金)

地点: 田代

作成日: 2010年7月2日

本年(7月~9月)の気象傾向

エルニーニョ現象は終息したと見られ、期間後半にはラニーニャ現象に移行する見込み。このため、日本付近での太平洋高気圧の張り出しは、7月は南西諸島や西日本が中心で、北日本への張り出しは弱い。9月には本州付近への張り出しが強まる見込み。太平洋高気圧の縁を回る湿った空気の影響で、7月は全国的に曇りや雨の日が多くなるでしょう。北日本では7月後半から8月にかけて、寒気の影響を受ける時期がある見込みです。9月は日本付近で太平洋高気圧が強まるため、全国的に残暑が厳しくなる見込みです。

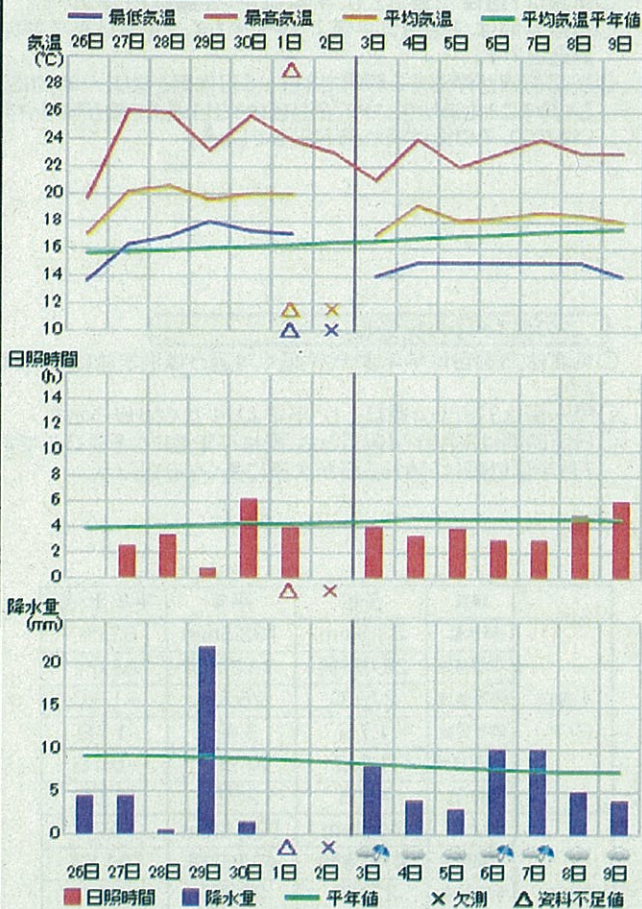
直近1ヶ月の経過

○ここ一ヶ月の降水量は6月中旬を中心に平年を上回ったものの、それ以外がやや少なく、平年比は87%となった。この一週間は6月29日に22ミリのまとまった雨が降っている。

○日照時間は、6月前半を中心によく晴れて平年を大幅に上回り、ここ一ヶ月でも平年よりやや多くなった。

○ここ一週間も顕著な高温で、平均、最高最低気温とも平年より5℃前後高くなった。一ヶ月を通してても、平年より1.4℃も高い。

直近1週の詳細予報



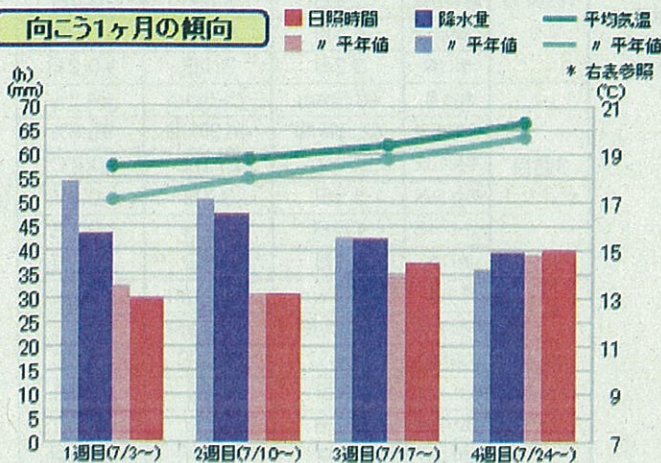
この先2週間の見通し

- 気温は2週目にかけて、平年並かやや高い日が多いでしょう。
- 日照時間は1週目・2週目とも、概ね平年並の見込みです。
- 梅雨前線の影響を受けて、1週目は梅雨空が続き、3日と6日~7日は雨が降るでしょう。2週目は10日~13日と15日頃に雨が降りやすくなりそうです。

この先1ヶ月の見通し

- 3週目以降も、気温は平年並かやや高く推移するでしょう。
- 降水量は3週目・4週目とも、平年並になりそうです。
- 日照時間は3週目・4週目とも概ね平年並の見込みです。ただ、雨の日も平年より多くなる可能性があり、メリハリのある天気になるでしょう。

向こう1ヶ月の傾向



	項目	予報	平年	平年比・差
1週目 (7/3~)	降水量	43.4mm	54.3mm	79.9%
	日照時間	29.7時間	32.6時間	91.1%
	平均気温	18.5℃	17.1℃	+1.4℃
	晴れ日数	1.8日	1.5日	+0.3日
	くもり日数	1.5日	2.6日	-1.1日
2週目 (7/10~)	降水量	47.5mm	50.5mm	94.1%
	日照時間	30.8時間	30.8時間	100.0%
	平均気温	18.8℃	18.0℃	+0.8℃
	晴れ日数	1.7日	1.1日	+0.6日
	くもり日数	1.2日	2.5日	-1.3日
3週目 (7/17~)	降水量	42.4mm	42.6mm	99.5%
	日照時間	37.3時間	34.8時間	107.2%
	平均気温	19.4℃	18.8℃	+0.6℃
	晴れ日数	1.9日	1.6日	+0.3日
	くもり日数	1.0日	2.2日	-1.2日
4週目 (7/24~)	降水量	39.5mm	36.1mm	109.4%
	日照時間	39.8時間	39.0時間	102.1%
	平均気温	20.3℃	19.7℃	+0.6℃
	晴れ日数	2.6日	2.1日	+0.5日
	くもり日数	1.3日	2.5日	-1.2日
	雨日数	3.1日	2.4日	+0.7日

【この先1ヶ月の気象状況】

期間:7月3日(土)~7月30日(金)

地点:熊本

作成日:2010年7月2日

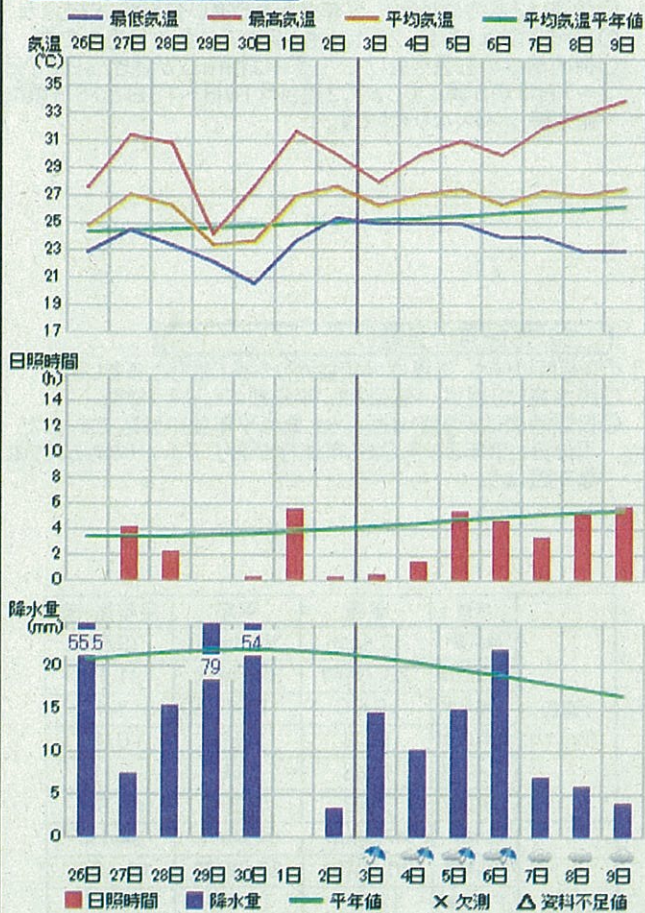
本年(7月~9月)の気象傾向

エルニーニョ現象は終息したと見られ、期間後半にはラニーニャ現象に移行する見込み。このため、日本付近での太平洋高気圧の張り出しは、7月は南西諸島や西日本が中心で、北日本への張り出しは弱いが、9月には本州付近への張り出しが強まる見通し。太平洋高気圧の縁を回る湿った空気の影響で、7月は全国的に曇りや雨の日が多くなるでしょう。北日本では7月後半から8月にかけて、寒気の影響を受ける時期がある見込みです。9月は日本付近で太平洋高気圧が強まるため、全国的に残暑が厳しくなる見通しです。

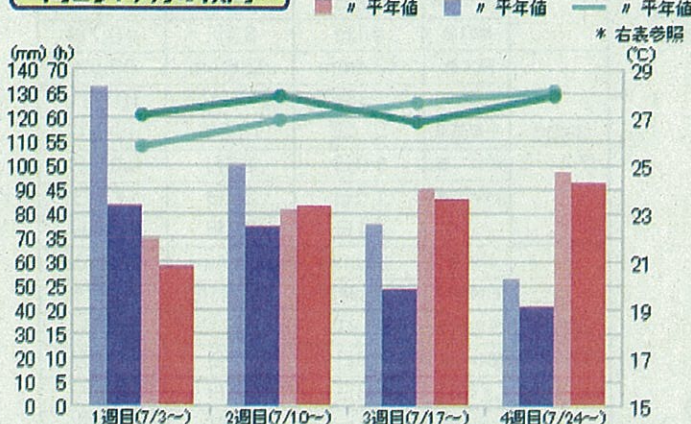
直近1ヶ月の経過

- この一週間は梅雨前線の影響により平年の1.5倍の雨が降った。特に6月29日には79ミリの大雨となっている。それでも、一ヶ月を通してみると、6月前半の少雨が影響し、平年比92%となった。
- 日照時間は6月後半を中心に極端に少なく、この一ヶ月で平年をやや下回った。昨年同時期と比べても8割程度となっている。
- 平均気温はここ一ヶ月で平年差+0.7℃。6月中旬を中心にやや高かった。この一週間は平年より0.5℃高く、7月1日に最高気温が31.7℃まで上がっている。

直近1週の詳細予報



向こう1ヶ月の傾向



この先2週間の見通し

- 気温は1週目・2週目とも、平年並かやや高いでしょう。
- 日照時間は、1週目は平年よりやや少なく、2週目は平年並の見込みです。
- 梅雨前線が停滞する影響で3日~6日は雨となり、一時的に激しく降ることもありそうです。2週目は13日頃まで雨が降りやすいものの、その後は晴れ間が出るでしょう。

この先1ヶ月の見通し

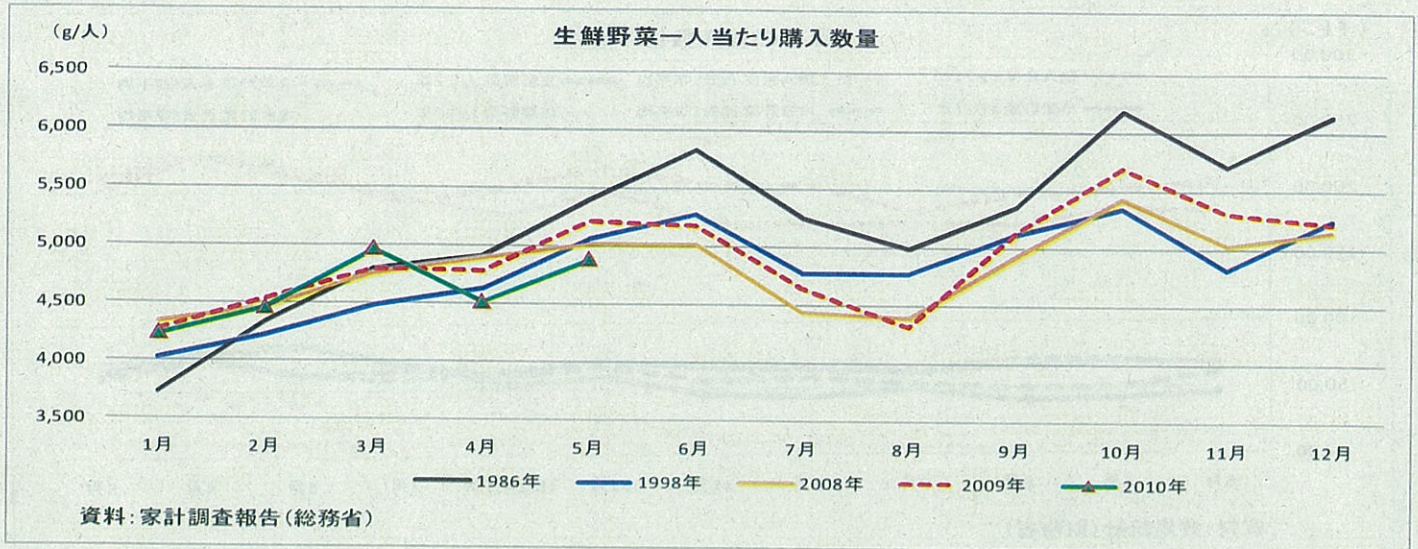
- 気温は、3週目は平年よりやや低く、4週目は平年並になるでしょう。
- 降水量は3週目・4週目とも、平年より少なくなりそうです。
- 日照時間は3週目・4週目とも、概ね平年並になる見込みです。7月半ば以降は、晴れる日が次第に多くなるでしょう。

	項目	予報	平年	平年比・差
1週目 (7/3~)	降水量	83.3mm	132.5mm	62.9%
	日照時間	29.0時間	34.7時間	83.6%
	平均気温	27.1℃	25.8℃	+1.3℃
	晴れ日数	1.7日	3.4日	-1.7日
	くもり日数	1.0日	0.9日	+0.1日
	雨日数	4.3日	2.7日	+1.6日
2週目 (7/10~)	降水量	74.6mm	100.6mm	74.2%
	日照時間	41.4時間	40.8時間	101.5%
	平均気温	27.9℃	26.9℃	+1.0℃
	晴れ日数	2.6日	3.0日	-0.4日
	くもり日数	1.1日	0.9日	+0.2日
	雨日数	3.3日	3.1日	+0.2日
3週目 (7/17~)	降水量	48.5mm	75.6mm	64.2%
	日照時間	42.9時間	44.9時間	95.5%
	平均気温	26.8℃	27.6℃	-0.8℃
	晴れ日数	3.9日	3.7日	+0.2日
	くもり日数	1.0日	0.9日	+0.1日
	雨日数	2.1日	2.4日	-0.3日
4週目 (7/24~)	降水量	41.3mm	52.8mm	78.2%
	日照時間	46.2時間	48.6時間	95.1%
	平均気温	27.9℃	28.1℃	-0.2℃
	晴れ日数	4.0日	4.1日	-0.1日
	くもり日数	0.6日	0.7日	-0.1日
	雨日数	2.4日	2.2日	+0.2日

3. 需要動向

(1) 購入数量の変化(全品目共通)

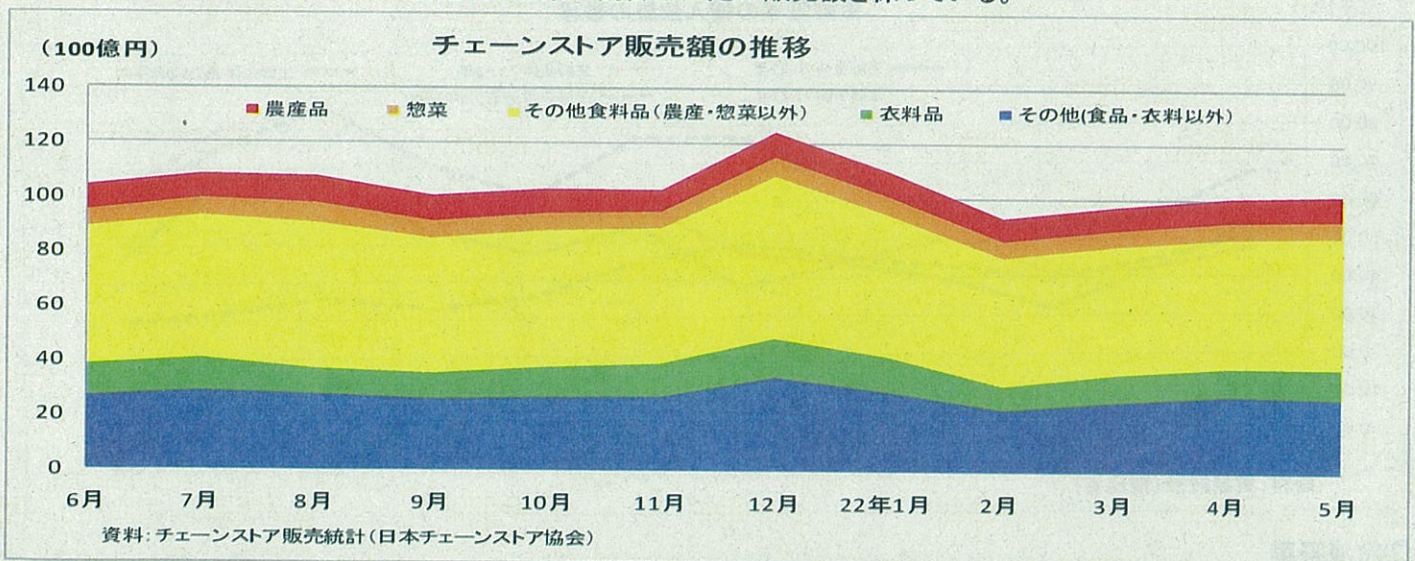
10月及び12月にピークになるという全体傾向に変化はないものの、野菜価格が高騰した4月にはここ数年で最も購入数量が少なくなった。



(2) チェーンストアの販売動向(全品目共通)

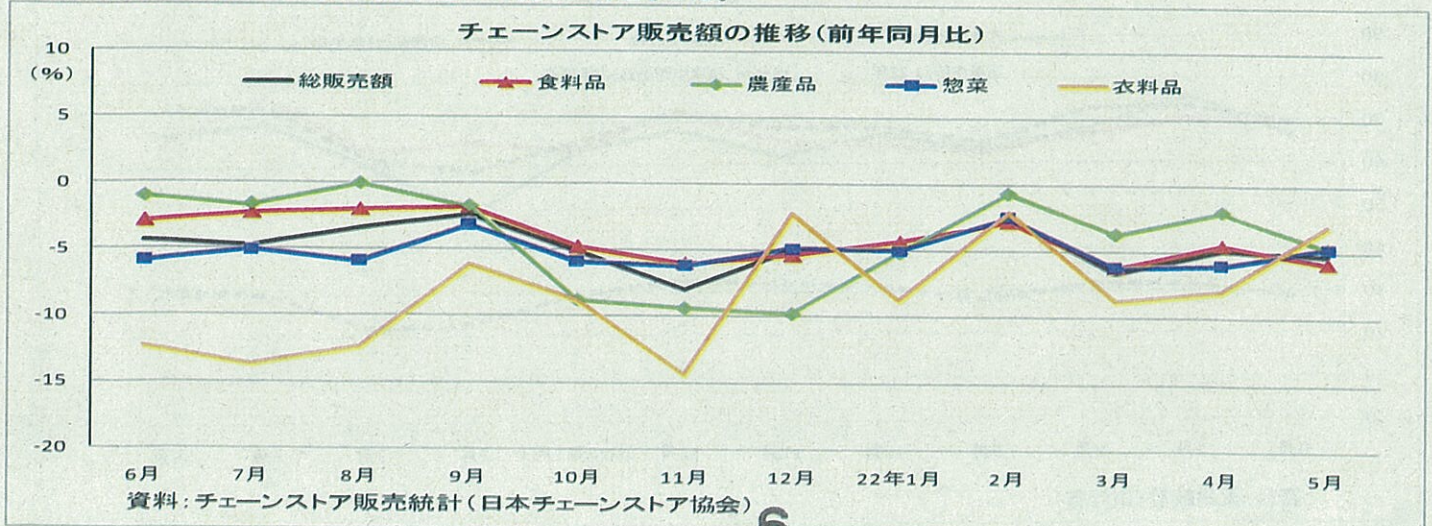
① 販売額の推移

衣料品の割合が減るなかで農産物、惣菜の割合は一定の販売額を保っている。



② 販売額の前年同月比

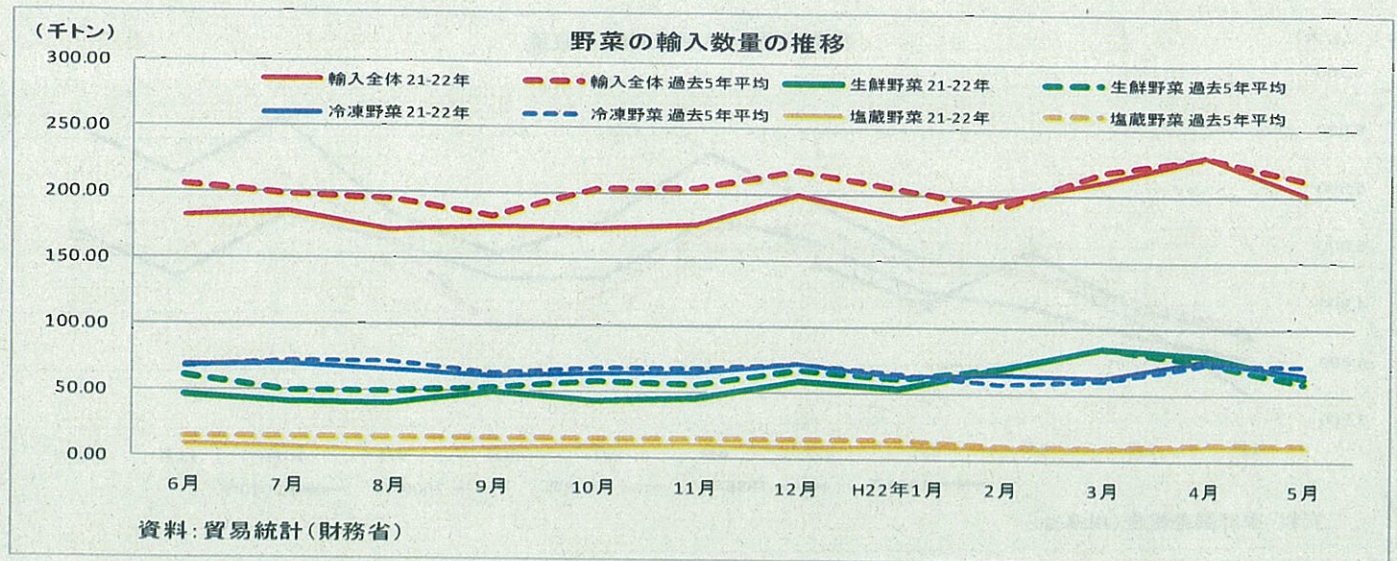
総販売額は通年、前年割れしている。食料品の販売額に大きな変動はないが、農産物は変動が大きく、特に、年末年始の高値を反映して2月は前年並みの売り上げとなった。



(3) 輸入動向(全品目共通)

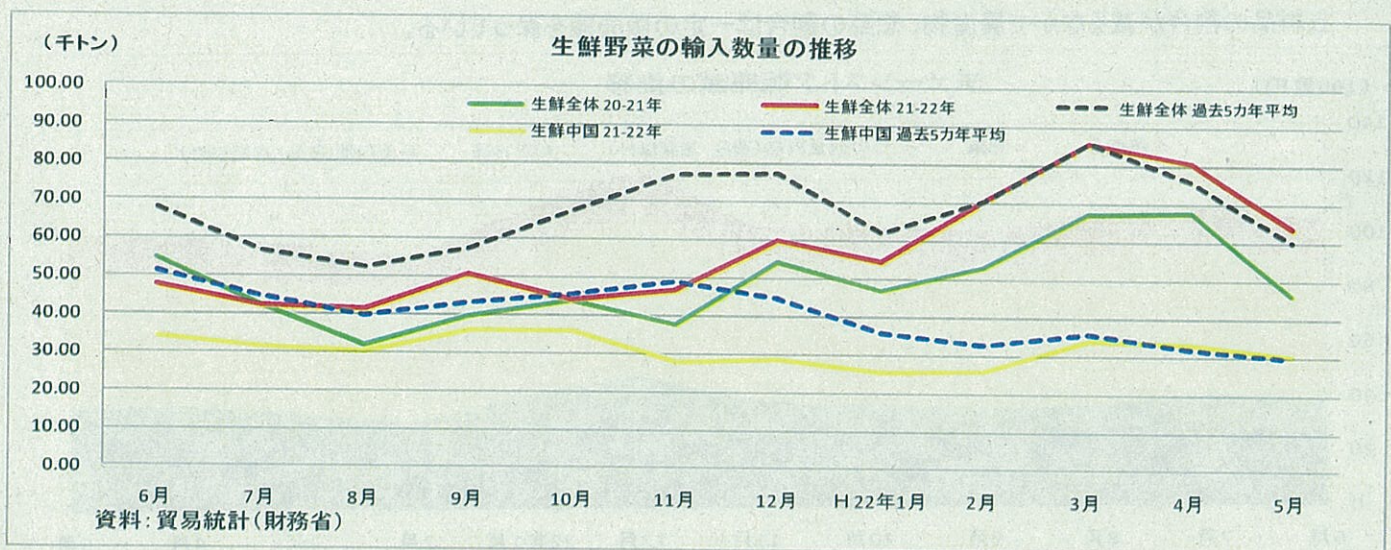
① 野菜全体

冷凍、塩蔵に関しては大きな変動はなかった。生鮮野菜については昨年は過去5年平均を下回って推移したが年明け以降は増加し、特に4月は過去5年平均と同水準となった。



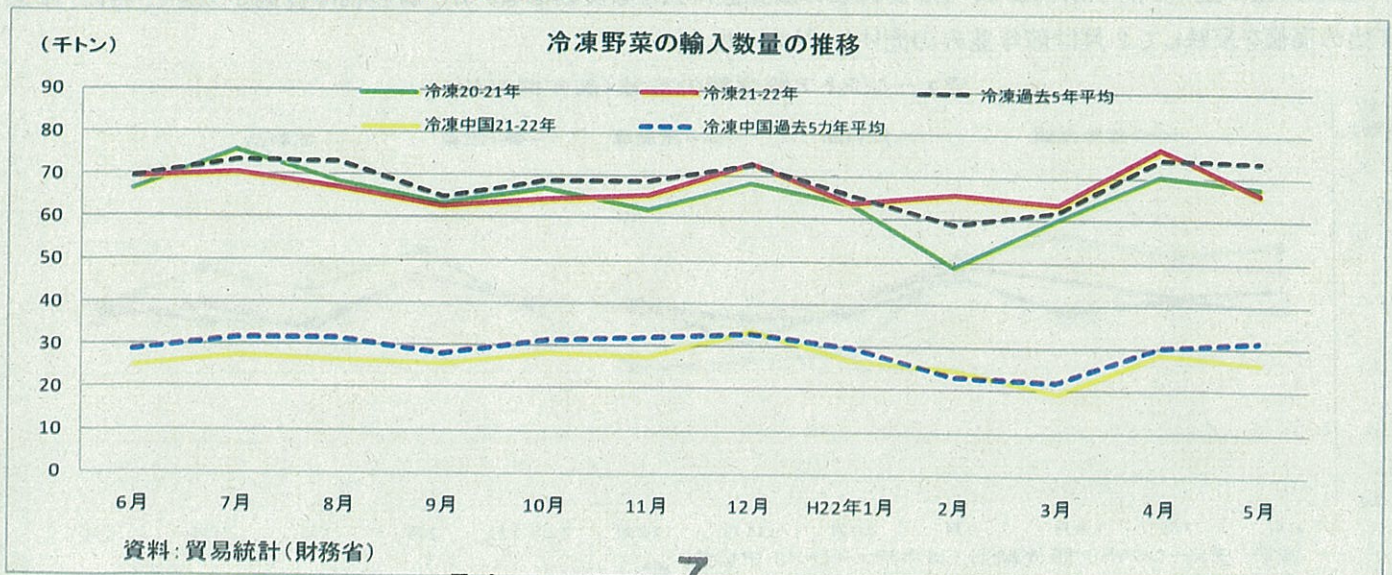
② 生鮮野菜

中国からの生鮮野菜の輸入数量は過去5年平均を下回って推移したが、生鮮野菜全体では急増した。



③ 冷凍野菜

冷凍野菜の輸入数量は特に2月は高値で推移したこともあり、前年を上回る輸入量があった。中国産の冷凍野菜は過去5カ年平均を大幅に超えることはなかった。



④ 輸入実績(主要品目)

生鮮野菜 (トン)	
①たまねぎ	207,575
②かぼちゃ	105,300
③にんじん かぶ	41,818
④ごぼう	36,631
⑤ねぎ	32,563

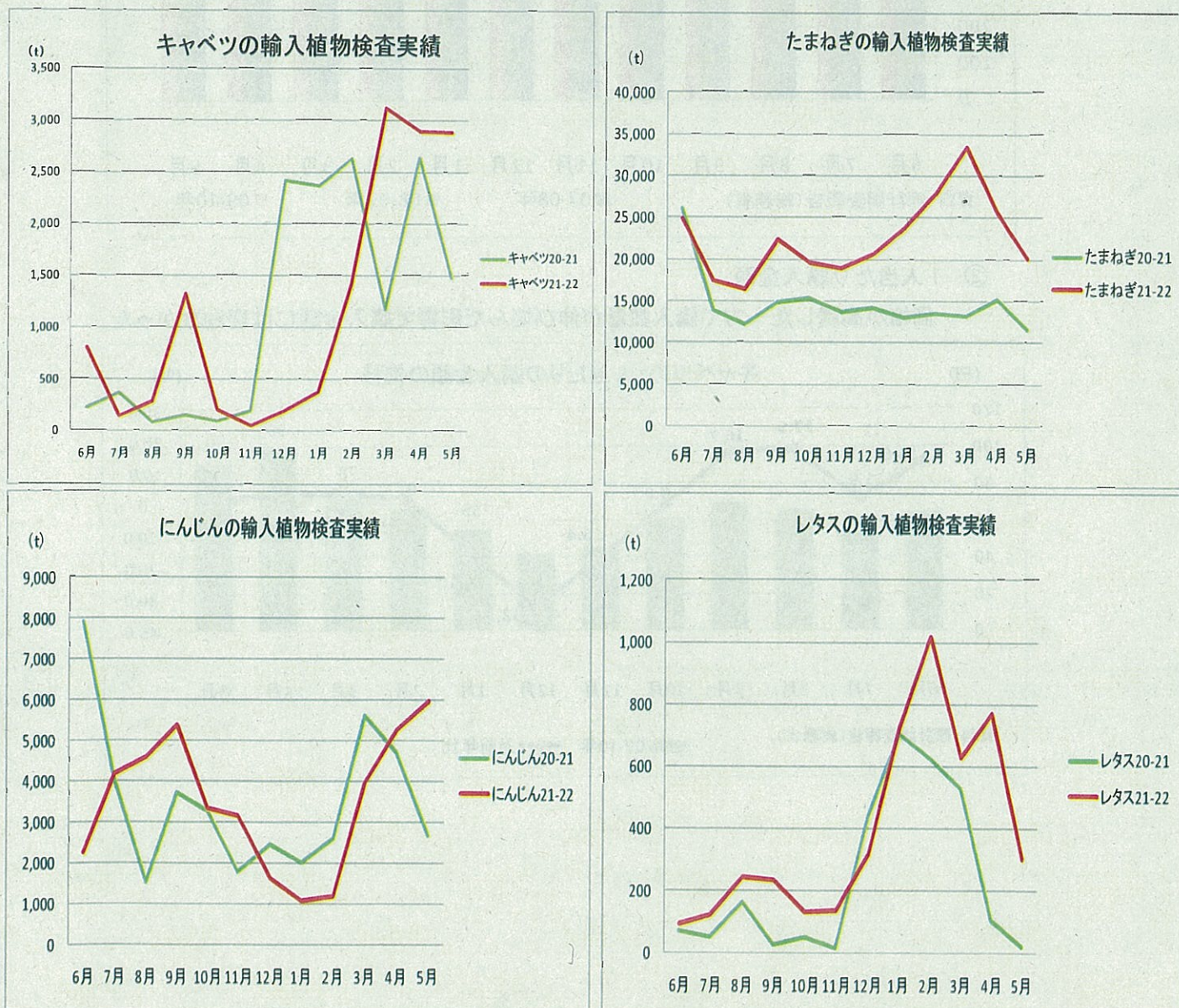
冷凍野菜(トン)	
①ばれいしょ	320,009
②えだまめ	58,929
③スイートコーン	43,162
④さといも	37,544
⑤いちご	24,395

資料: 貿易統計(財務省、平成21年)

⑤ 植物防疫検査実績(主要品目)

昨年の天候不順により入荷が減少したたまねぎは年明け以降、主に米国産を中心に輸入数量が急増し3万tを超えたが佐賀県産などの入荷に伴い4月以降は2万tまで減ったものの昨年よりも多めで推移している。

キャベツ、にんじんに関しても年明け以降の価格高騰により増加傾向。レタスは2月をピークに減少した。



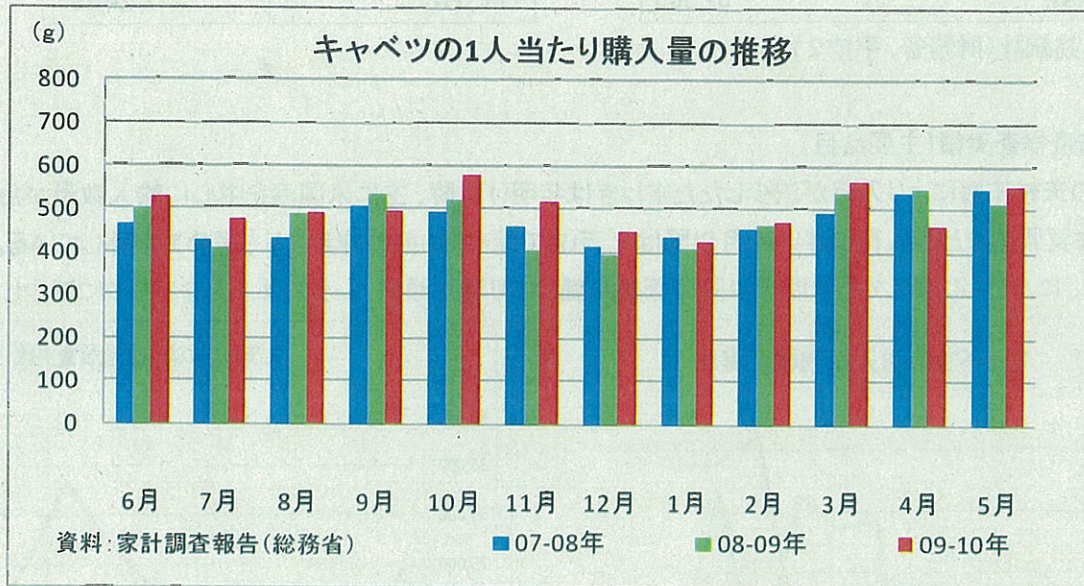
出典: 農畜産業振興機構「ベジ探」
 原資料: 農林水産省「植物検疫統計」

3 需要動向（個別品目）

(1) 家計消費

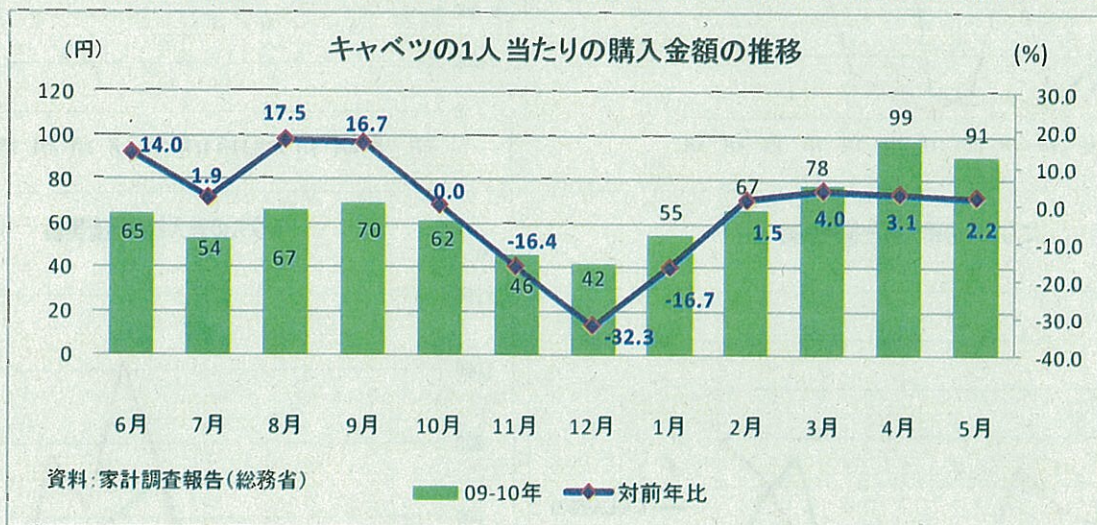
① 1人当たり購入数量

年明け以降前年並みから多めに推移したが、4月には価格高騰から購入数量が減った。



② 1人当たり購入金額

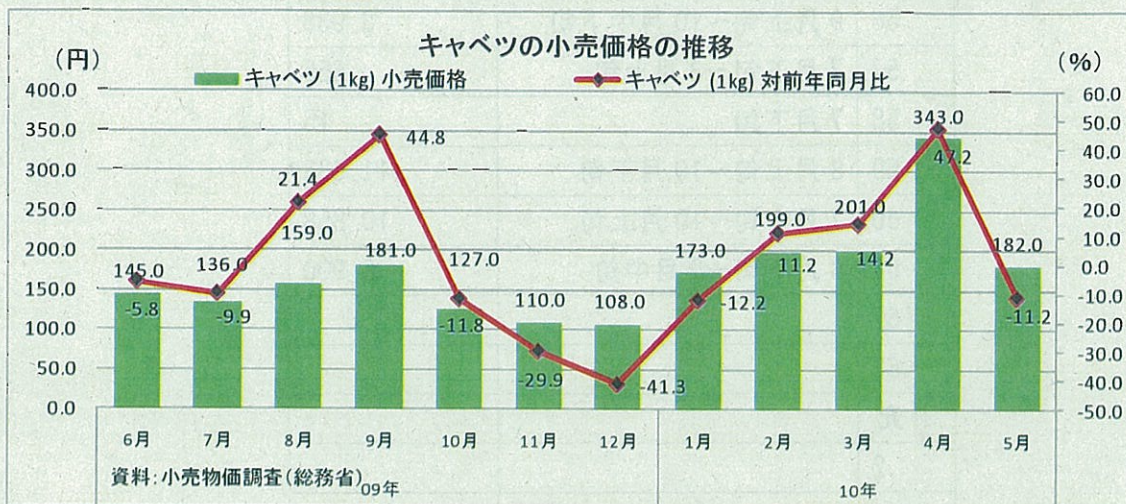
価格が高騰した一方で購入数量が伸び悩んだ影響で購入金額には変動なかった。



(2) 小売価格 (個別品目)

① 小売価格 (東京都区部)

年末年始の降雪・干ばつにより生育が停滞し、収穫作業が進まなかった影響で年明け以降、急騰し4月には前年比47.2%増となった。



② 小売価格 (全国)

卸売価格と小売価格の連動性などについて検証するため、平成21年7月から当機構による全国的な小売価格の定点調査が開始された。(参考資料3)

○調査結果の公表先

当機構のホームページの野菜情報サイト「ベジ探」

「野菜の小売実態調査」

(URL: <http://vegetan.vegenet.jp/>)

(参考)

○夏秋キャベツの過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量(t)
S55		
56	9月上旬～10月中下旬	3,938
57	7月下旬～8月上旬	655
58	7月下旬	15
59	8月上旬～10月下旬	11,632
60	7月中旬～10月上旬	10,858
61	8月下旬～9月中旬	8,900
62		
63		
H元		
2		
3		
4	10月下旬	1,895
5	7月下旬	649
6		
7	10月上旬	1,174
8	8月上旬～9月上旬	7,112
9		
10		
11		
12	8月下旬～10月中旬	11,225
13	9月上旬	4,406
14		
15		
16	8月下旬	3,787
17	8月中旬～8月下旬	17,629
18		
19		
20	9月中旬	5,600
21		

4. 今後の見通し